

■ 国内港湾特集

海運ショック響き主要港ベースに動き急 コンテナ物流の変革期も集貨・創貨でせめぎ合い

国際コンテナ戦略港湾の推進

17年度には港湾の中長期政策で方向性

・ 京浜港

横浜港…ICTやLNGバンカリングなど戦略港湾での実験

川崎港…韓国、中国に加えタイなど東南アジア航路照準

東京港…中防外側の新CTが秋にも供用開始し新展開

・ 伊勢湾（中部）

名古屋港…15年連続の総貨物量国内トップ堅持を推計

四日市港…コンテナ荷動きは11月も2ケタ増など堅調以前

・ 阪神港 阪神国際港湾の集貨事業で成果示す

神戸港…1-11月で254万TEUと16年も過去2番目？

大阪港…C12を250m延伸し水深16mの耐震化

・ 北部九州

北九州港…陸海空の「物流拠点都市」へ基盤強化

博多港…東アジアのマルチクロスポートへ港勢拡大

■ 2017年のコンテナ船業界

■ 2016年のアジア→米国荷動き

■ 現代版シルクロード「中欧班列」

■ 物流効率向上講座 連載31 松山港

■ 航空貨物：フォワード上位5社の16年航空貨物実績 他

■ 資料室：16年版「世界のコンテナ船隊・就航状況」 日本郵船調査グループ